

# 薬連ハイライト

全国から27名の薬剤師議員が集結し本田氏を支持!!  
「薬剤師首長・地方議員意見交換会」が開催される!

5月28日(火)午後1時30分よりホテルグランド  
アーク半蔵門において令和元年度の「薬剤師首長・  
地方議員意見交換会」が開催された。まず山本会長  
の挨拶から始まり、薬剤師国会議員である藤井基之  
参議院議員へと続いた。

次に日本薬剤師連盟の現状報告があった。(1) 薬



剤師地方議員の状況として、第19回統一地方選挙の  
結果、薬剤師が25名立候補し、その内、21名が当選  
されたと報告された。また、(2) 医薬品、医療機器  
等の品質・有効性及び安全性の確保等に関する法律  
等の一部を改正する法律案の概要について説明がな  
された。

次に、第25回参議院議員通常選挙についての説明  
があり、その後、本田あきこ副会長から現在の活動  
状況と更なる支援のお願いがなされた。それを受け  
当日出席の27名の首長・地方議員より活動報告、意  
見と共に本田あきこ氏に対する支援の言葉が述べら  
れた。途中、本会議で忙しい中、とかしきなおみ衆  
議院議員、松本純衆議院議員が駆けつけ、お祝いの  
言葉と参議院選挙への協力を呼びかけた。

続いての懇親会では逢坂誠二衆議院議員も参加さ  
れた。懇親会では、統一選挙で当選された議員への  
祝福など、大変盛り上がった会となった。

## もとゆき便り

### データヘルスの推進

自由民主党組織運動本部本部長代理  
参議院議員・薬剤師  
藤井もとゆき

急速な少子高齢化と人口減少が進む我が国におい  
て、健康寿命を延伸し、国民それぞれが一層活躍す  
る社会を構築するとともに、社会保障制度の持続可  
能性を確保していくためには、健康・医療・介護の  
データを連結・活用し、健康管理や疾病予防に結び  
つけていくことが不可欠となっています。このた  
め、自民党のデータヘルス推進特命委員会では、昨  
年末から4つのWG(がんゲノム・AI等WG, 国民・  
患者視点のデータヘルスWG, 病院等全国情報イン  
フラWG, 科学的介護WG)を設けて検討を行い、  
データヘルス改革の取り組みについての提言を取り  
まとめました。

この中で、がんの治療について、その精度向上や  
個別化医療の提供のため、全ゲノム解析等を含む、  
がんゲノム研究・治療の具体的実行計画を今年中に  
公表するよう求めています。また、3年間で少なく  
とも10万人を対象としつつ、100万人規模を目標と  
して、がん患者等の全ゲノム解析を行って抗がん剤  
等の治療法開発や予防等を目指すべきとしています。

オンライン診療・服薬指導・電子処方箋について  
は、国民の真のニーズに応え、医療過疎地や通院困

難な国民の医療アクセスを改善  
し、治療効果を最大化するため、  
セキュリティ対策や医薬品の  
安全な提供等、具体的な取り組  
みを進めるべきとしています。

診療機関において、より適切  
な診断・治療を推進することや  
医療・介護サービスの高度化・  
効率化を推進するため、全国の医療機関が保有する  
診療データ等について、他の医療機関や患者が必要  
時に情報共有する仕組みを早期に実現すること。及  
び、国民自身が健康寿命延伸に取り組むため、自身  
の健診データや診療結果等のPHR(パーソナル・  
ヘルス・レコード)の早期提供を可能とすること。  
これらについて、具体的な開発工程表を2020年夏  
までに策定すべきとしています。

6月に取りまとめ予定の「骨太の方針」等に、こ  
れらの提言が如何に反映されるか注視したいと思ひ  
ます。



藤井議員に関するご意見・ご要望等がございましたら、  
全国藤井もとゆき薬剤師後援会(下記アドレス)  
までご連絡くださいますようお願いいたします。

zenkoku@mfujii.jp